

天候の変化が大きいなか、今シーズン待望の初優勝を獲得 シリーズランキングもチャンピオンへ向けて確実な歩みに

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup はGR GR86 Cup Car Basic と SUBARU BRZ Cup Car Basic を使ったワンメイクレースです。プロフェッショナルシリーズとクラブマンシリーズの2シリーズ制で行われており、プロフェッショナルシリーズには、国内トップドライバーが数多く参加する、レベルの高いワンメイクレースとなっています。



TX2 CABANA Racing 堤優威 ゼッケン1

堤優威がドライブする「TX2 CABANA RACING CABANA BS GR86」の2026年は、第1戦オートポリス2位、第2戦スポーツランドSUGO2位、第3戦岡山3位と連続表彰台を獲得してきました。前戦の第4戦十勝は4位となり連続表彰台の記録は断たれましたが、シリーズランキングはトップを維持しています。

第5戦の舞台は富士スピードウェイです。今回の富士大会では年間を通して開催されている、インタープロトというレースにダブルエントリーしている関係で、堤選手はTGR GR86/BRZ Cupのチームテントと、インタープロトのチームピットを往復する忙しいレースウィークとなりました。

チームは水曜日からサーキット入りし走行を開始します。水曜日に30分×2本、木曜日に30分×4本と多くの走行を行いますが、金曜日は30分×1本という少ない走行時間の中でセットアップを決めていきます。また水曜・木曜は曇り空、金曜は雨が降り始めてしまい決勝用のセットアップを決めかねます。日曜の決勝は雨という天気予報の中で、雨セッティングをどこまで突き詰められるのかも、勝負の行方を決める展開となりました。

QUALIFY

公式予選【PRO】 2026年9月5日（土） 11:50～ 天候：曇り 路面：ドライ
タイム 2'00.283 順位 3 位

夏の雰囲気は影を潜め秋らしい涼しい気候になったこの週末。気温もそれほど上がらず過ごしやすい天候が続きます。前日の夕方に行われた占有走行は、小雨が降ったことで堤は17位というポジションにいました。しかし雨が降るタイミングでの走行でしたので、あまり不安はなく、予選はここ一発の勝負勘を見せるのが堤の強さです。堤は15分という短い予選時間の中で、前日の雨の影響で路面がまだ濡れているところもあり、多くのマシンが走り路面が乾いていきタイムが出ることを見込み、予選時間残り4分を切った後半にアタックを掛けます。最後のワンチャンスをしっかり走り切り3位というポジションを獲得します。ダンロップタイヤを履くライバルが上位2台を占めましたが、ブリヂストン勢トップを堤が獲得しています。



RACE

決勝レース【PRO】 2026年9月5日（日）10:50～ 天候：雨 路面：ウェット
タイム 21'55.202 順位 1 位



今回の決勝レースは、インタープロトKYOJO、VITAなどの多くレースが開催される関係でTGR GR86BRZ Cupは朝早いスタートとなりました。前日の予選は雨の天気予報が覆り、思いのほか晴れ間も見えるほど天候が回復しました。決勝の日曜は朝からどんよりとした曇り空で、いつ雨が降ってきてもおかしくない状況です。クラブマンシリーズの走行が始まる頃に小雨が降り始め、プロフェッショナルクラスが始まる頃にはしっかりと雨模様になりました。

堤が装着するブリヂストンタイヤは雨のレースで強さを発揮することもあり、ブリヂストンタイヤ装着勢が決勝レース中に上位に進出してくるのではというレース直前の予想もされました。決勝レースで堤は冷静にシグナルに合わせて、タイヤを空転させることもなくマシンを前に進めていきます。雨が激しくなり前方の視界が良くない状況ですが、序盤に前方の1台をパスし、最終コーナーを立ち上がるころにはトップと横並びになり、ホームストレートに帰ってくる頃にはトップに躍りでて、上位2台のダンロップタイヤ装着車を1周目にパスすることに成功します。その後は5位から追いつけてきた、同じブリヂストンタイヤを装着する88号車スバルBRZに乗る井口選手との間隔を、上手にコントロールしながら安定したレース運びを行います。そして驚くべきことに最終ラップに堤はファステストタイムを刻みます。装着しているブリヂストンタイヤの性能の良さを感じさせた瞬間でした。優勝したことで20ポイントを獲得しただけでなく、ファステストの1ポイントも獲得しました。この結果今回のレースで21ポイントを獲得し、トータル73ポイントとなり、シリーズランキングでは頭ひとつ抜け出したことになります。この結果チャンピオン獲得に大きく前進しました。次戦は10月3日～4日に鈴鹿サーキットで開催されます。引き締めてタイトル争いに挑んでいきます。



COMMENTS

チームスタッフ&ドライバー

T×2 CABANARacing チーム監督

安藤 宏



昨年のSUGO大会以来の優勝となりました。天候が変化する難しいコンディションのなか予選3位という好結果を出してくれたことで流れを引き寄せることが出来ました。上手く走り进行を合わせ込んだ堤選手と、最適なセッティングを用意してくれたチームのエンジニア、メカニックの準備には頭が下がる思いです。決勝はウェットレースとなり、レース1周目から首位に立ち、その後も危なげない安定したレース展開で、今シーズン初勝利を得ることが出来ました。ランキング首位を守り終盤戦に向けて優位な状況を築き上げることができました。残り2戦も油断なく準備を怠らず、堤選手、チームのスタッフと共に勝つて兜の緒を引き締め、ベストを尽くして戦いたいと思います。今回のレースも大勢の応援してくださるファンの皆様、ご支援とサポートしていただいておりますスポンサー様、サプライヤーの皆様に多大なる感謝を申し上げます。

ドライバー #1 CABANA BS GR86

堤 優威



今週の走り始めから流れはあまり良くなかったですが、しっかりと準備をしたことで予選3位、決勝1位という結果を得られました。今週は天候の変化が大きくなかで、このレースで大きなウェイトを占める、タイヤの空気圧もうまく調整できました。決勝では前方2台を1周目に攻略しようと決めていましたし、1周目終わりにトップに出られたのが良かったです。その後は2位の井口選手の速い部分と、自分の速い部分とを見比べながらレースをうまくコントロールできたと思います。最終ラップにファステストも取れたのは嬉しいですし、1年ぶりに優勝できたことがとにかく嬉しいです。応援団も多く来てくださる中で優勝をすることができて良かったです。次戦は鈴鹿ですが上位にいればシリーズチャンピオンも確実なものになってくるのでしっかり挑みたいと思います。

T×2 CABANARacing チーフエンジニア

山崎 登



去年の富士のデータを参考にして走り始めて、ドライでは手応えはあったのですがトップを狙えるまでの雰囲気ではありませんでした。いろいろな部分をアジャストを行いました。予選は思いのほか天候が良くなり難しい状況で、色々なラッキーな要素も重なりましたが、そのラッキーを引き寄せる用意も怠らずできた結果だと思います。決勝は雨が降ればブリヂストンタイヤが優位というのが考えられましたので、ドライバーが落ち着いて走り、序盤にトップ2台を追い抜ければ、その後は引き離して行く作戦を実行できたと思います。ポイントリーダーですが気を引き締めて次戦も挑んでいきたいと思っています。

BRIDGESTONE BRIDE EXEDY Speedhack Store Newf Automobile Accessory TO MEI GROUP CABANA Child.co.,Ltd
POTENZA HYPER WATER. INGING MOTORSPORT. OXREX United Sound. 焼肉 上田屋 株式会社 堀 佐 繁乃鑑

GR Toyota Racing GR86/BRZ Cup

T2 CABANA RACING